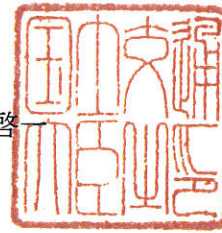


認定書

国住指第 2700 号
平成 29 年 12 月 1 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0953
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／
床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分
(中空床を除く)

2. 寸法等の仕様：
寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ260mm以下)
	面積	0.0531m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		32.9%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 150mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
被覆材		材料	①又は②又は組み合わせ ① ②ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート・PETフェルト	
		寸法	材料①：厚さ 材料②：厚さ 14.2mm 以下 被覆長さ：300mm 以上(立て管)	
		使用箇所	立て管	
	材料①	表面材	材料	
			①	材料 あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布
			質量	
			②	材料
			組成 (質量%)	
			厚さ	
		密度		
		基材	材料	
			厚さ	
			密度	
	材料②	表面材	材料	①及び②の組合せ
			①	材料 あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布
			質量	
			②	材料 軟質塩化ビニル樹脂シート
			組成 (質量%)	
			厚さ	2.2mm以下
密度				
基材		材料	PETフェルト	
		組成 (質量%)		
		厚さ	12mm以下	
	密度			
貫通部処理材料	断熱シート	材料	ガラス繊維補強アルミニウム箔付ロックウールシート	
		寸法	幅50mm以上、厚さ10mm以上、長さ1周以上	
		密度		
	テープ	使用箇所	開口内50mm以上	
		材料	アルミニウム箔張ガラスクロステープ	
		寸法	厚さ0.2mm以上	
充てん材	用途	断熱シートの施工用		
	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75		
	使用箇所 (使用量)	床と排水管(継手部)の隙間 (床厚方向150mm以上密に充てん)		

表3 配管の仕様

項目		仕様				
排水管	管継手	材料	本体：ねずみ鋳鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂系紛体焼き付け塗装 ゴムパッキン：EPDM (上部)、SBR又はEPDM (下部) 押輪：球状黒鉛鋳鉄品 (JIS G 5502) 留付材：ボルト (鋼製 (ステンレス鋼含む))			
		種類	受け口タイプ (掃除口あり又はなし)			
	外径	φ149mm以下 (立管部) φ160mm以下 (横主管部 (掃除口あり)) φ173mm以下 (横主管部 (掃除口なし))				
	立て管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))	外径	φ140.0mm以下	厚さ	7.5mm以下
横主管	耐火二層管 (国土交通大臣認定：PS060FL-0383.0401、0454において配管として規定される繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管)	外径	外管： φ183mm以下 内管： φ165.5mm以下	厚さ	外管： 5.5mm以上 内管： 9.6mm以下	

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
ジョイントテープ	材料	合成樹脂製 (合成ゴム系粘着剤付)	
	寸法	厚さ：0.95mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材と配管の端部、被覆材同士、被覆材の中央に使用	
被覆材用テープ	材料	①又は② ①合成樹脂テープ (合成ゴム系粘着剤付) ②布テープ (合成ゴム系粘着剤付)	
	寸法	厚さ：0.3mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用	

5. 構造説明図：

構造説明図を図1及び図2に示す。

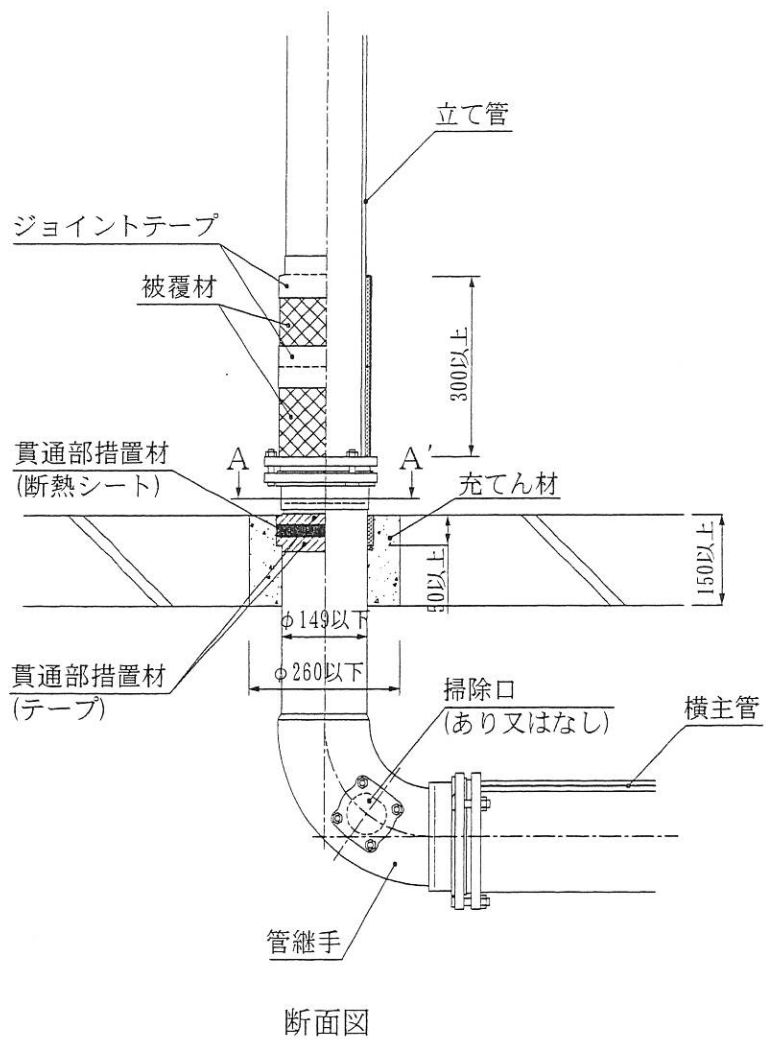
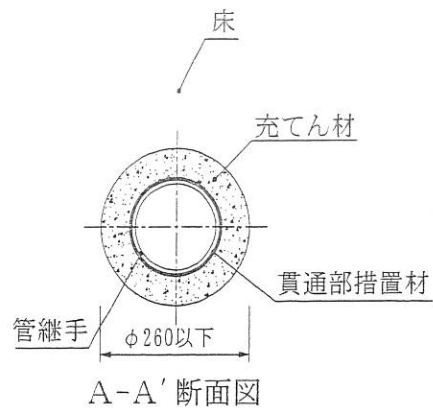
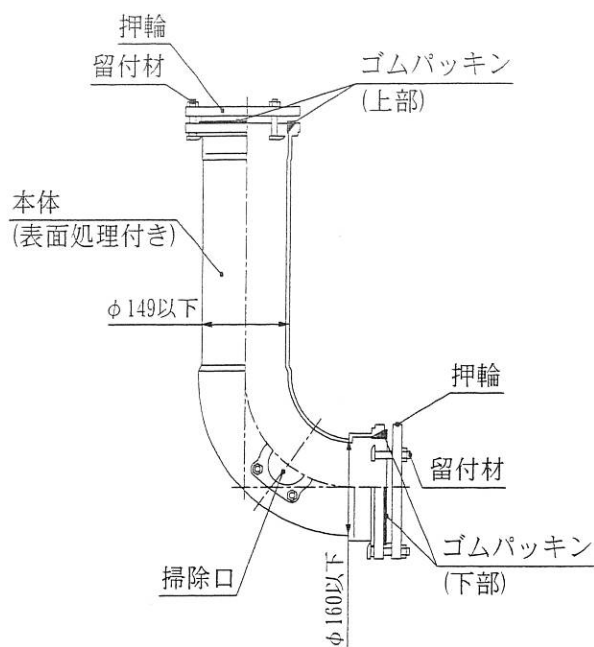
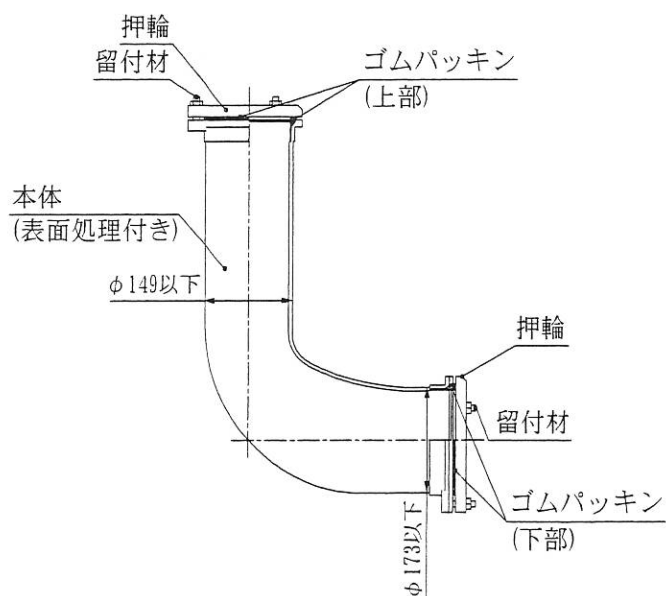


図1 構造説明図(施工図)



管継手詳細図 (掃除口あり仕様の場合)



管継手詳細図 (掃除口なし仕様の場合)

図 2 構造説明図 (施工図)

5. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
排水管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 断熱シートの巻き付け
断熱シートを設置する開口内に 50mm 以上となるように管継手に巻き付け、上下端部にアルミニウム箔張ガラスクロステープを巻き付ける。
- (3) 埋戻し
セメントモルタルにて埋め戻し、隙間がないことを確認して仕上げる。
- (4) 排水管の設置
立て管に被覆材を施工し、管継手に挿入し、支持・固定する。
また、横主管を管継手に挿入し、支持・固定する。